

化学職って??

福岡県職員 化学職志望者向け  
パンフレット



福岡県環境保全技術者の会



# ごあいさつ

福岡県化学職の仕事を紹介するパンフレットを手にとっていただきありがとうございます。

化学職は、白衣を着て分析、研究をしているイメージをお持ちの方も多いと思います。実際には、法律に基づく事業者への立入・指導や許認可業務を行ったり、産学官民協同事業など様々な業務に従事しています。

そこで、福岡県の化学職に興味を持たれた皆さんに、入庁前に具体的な仕事のイメージを持っていただけるよう、パンフレットを作成しました。

是非、ページをめくり、内容をご覧ください。

福岡県では、大気汚染や水質汚濁などの公害問題が深刻化した1960年代頃から、公害対策に従事する職員として化学職が採用され始めました。

その後も、廃棄物の不適正処理対策、ダイオキシン類対策や自然環境の保全など、次々と生じる環境問題の解決に向け取り組んできました。

環境問題の解決のためには、データや科学的根拠に基づいた対応が必要であり、化学職は福岡県の環境部門において大きな役割を果たしています。

最近では、プラスチックごみや食品ロスの削減、地球温暖化対策や生物多様性の保全など新たな問題が生じており、化学職が取り組むべき課題は尽きません。

新たな課題に立ち向かうためには、柔軟な発想と幅広い視点から対応策を検討し、実行することが求められます。また、複雑な環境問題を解決するためには、県民や事業者の皆さんと十分にコミュニケーションを取りながら、粘り強く取り組むことが必要です。

様々なハードルに直面することもあります。困難を乗り越えて問題が解決した時には大きな達成感や自身の成長を感じることができる仕事です。

福岡県の豊かな環境を次世代に引き継ぐため、チャレンジ精神にあふれる皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

福岡県環境保全技術者の会 会長 奥迫 芳美

「福岡県環境保全技術者の会」は、環境保全業務に従事する化学職等の福岡県職員で構成されており、会員の資質向上等のため、研修会や交流会、資格取得に対する助成等の活動を行っています。

設立 昭和55年3月

会員数 94名（令和6年1月1日現在）

（化学職以外の職員も加入）



1. 化学職の配属先と仕事内容
2. 主な配属先の位置図
3. とある若手職員<sup>ビジネスレポート</sup>の業務日誌
4. 化学職のキャリアパス
5. 入庁1年目職員<sup>あゆみ</sup>のあれこれ
6. 先輩職員<sup>あゆみ</sup>の軌跡
7. 化学職のバックグラウンド

## 【試験区分と業務の関係】

このパンフレットで紹介されている化学職は、主に行政業務を担当します。一方で、研究業務を行う職員として勤務するには、化学職の「大学卒業程度（I類）試験」とは異なる試験区分に合格する必要があります。

詳しくは試験案内をチェック↓

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/saiyo.html>





# 1. 化学職の配属先と仕事内容

## 化学職の配属先

化学職は主として本庁の環境部、または、出先機関である保健福祉環境事務所の環境部門に配属され、福岡県の環境行政を担っています。

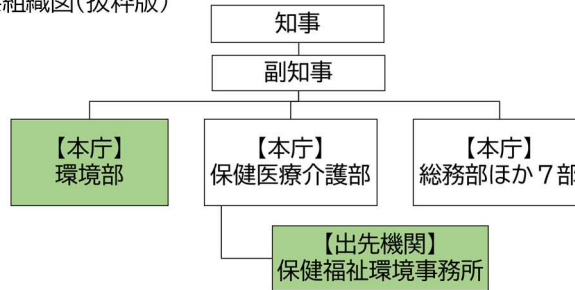
なお、環境部以外の配属先としては、商工部の水素エネルギー関係部署、県土整備部の水道関係部署、また、リサイクル総合研究事業化センターや下水道管理センターへの派遣などがあります。

福岡県では、SDGsの考え方を取り入れた環境行政の基本計画である環境総合ビジョンに基づき、各分野での取り組みを進めており、こちらでは、環境部関係の所属の仕事内容を御紹介します。

※福岡県の環境の取組は、福岡県環境白書や福岡県環境総合ビジョンでも紹介されています。

環境白書はこちら↓

県組織図(抜粋版)



## 環境部関係の仕事内容

### 本庁環境部

#### 環境政策課

環境政策課では、環境政策に関する県庁の司令塔として、環境行政の全体的な企画・調整や環境白書の作成、環境部全体の人事、予算編成を行っています。

また、個別の事業として、国際環境協力や県民向けの環境教育・環境イベントなどにも取り組んでいます。国際環境協力の分野では、公害を克服する過程で福岡県が培ってきた環境技術やノウハウを活かし、海外の自治体(ベトナム、中国、タイ、インド等)と協力しながら、越境大気汚染の問題や現地の廃棄物問題の解決に取り組んでいます。

#### 環境保全課

環境保全課では、県民の日常生活を取り巻く大気や水、土壌などの環境を保全し、安全で快適に生活できるようにするための業務に取り組んでいます。

その内容は、県内の大気(PM2.5やオキシダントなど)の常時監視や、河川・海域における水質監視、工場への立入検査・指導、土壌汚染対策、PRTR法に基づく化学物質の管理、環境中の放射線のモニタリングなど多岐にわたっています。また、家庭・事業所の省エネルギー対策や気候変動への適応など、地域における地球温暖化対策の推進にも取り組んでいます。



## 循環型社会推進課

循環型社会推進課では、廃棄物の発生抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再生利用(Recycle)の3Rの推進に取り組んでいます。

具体的には、関係リサイクル法に関する事務、リサイクル技術・システムの開発と普及の促進、リサイクル製品認定制度や県産リサイクル製品認定制度の運用を行うほか、食べ残しを減らす取り組みを行っている飲食店等「食べもの余らせん隊」の登録・PR支援、フードバンクの普及を促進する事業など、食品ロス削減に向けた取り組みも行っています。

## 廃棄物対策課

廃棄物対策課では、廃棄物の適正処理の推進のため、廃棄物行政の総合的な企画・調整等を行っています。

具体的には、県廃棄物処理計画の策定と進行管理、浄化槽の整備促進、PCB廃棄物の適正処理推進、漂着ごみ対策のほか、一般廃棄物の処理施設、産業廃棄物の処理業及び処理施設、使用済自動車等の解体業及び破碎業の許可審査等を行っています。

## 監視指導課

監視指導課では、事業活動から発生する産業廃棄物の不法投棄や不適正処理を防止・是正することにより、適正処理の推進に取り組んでいます。

具体的には、産業廃棄物の排出業者や処理業者に対する講習会、立入検査・指導、パトロール車や県警ヘリによるパトロール等を行い、不法投棄や不適正処理に対しては、現地調査を行い、改善指導や改善命令等の行政処分等を実施しています。

## 自然環境課

自然環境課では、福岡県の豊かな自然環境を守り、次世代につないでいくため希少種保護や外来種対策をはじめとする生物多様性の保全などに取り組んでいます。

具体的には、県内の希少野生生物をまとめたレッドデータブックの発行や外来種リストの作成、鳥獣保護区の指定や傷病鳥獣の保護による鳥獣保護対策、環境アセスメントの審査、自然公園内におけるキャンプ場などの利用施設や自然歩道の整備、温泉の掘削・利用等許可に関する審査などを行っています。



## 出先機関（県内6か所）

筑紫保健福祉環境事務所

宗像・遠賀保健福祉環境事務所

嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所

北筑後保健福祉環境事務所

南筑後保健福祉環境事務所

京築保健福祉環境事務所

※各事務所の所在地は隣のページをチェック！

## 地域環境課/環境課地域環境係

地域環境課/環境課地域環境係では、地球温暖化対策、自然環境の保全や浄化槽等に関する業務を行っています。

具体的には、温泉、自然公園、浄化槽に関する申請・届出の審査・指導や傷ついた野生鳥獣の保護等を行っています。

また、地球温暖化、3Rの推進や生物多様性の保全といった、地域や暮らしの中における取り組みが重要となる環境問題の解決に向け、各保健福祉環境事務所を拠点とした、地域環境協議会を設置しており、市町村や事業者、NPOなどの民間団体、地域の皆さんと一緒に、意識作りを行うイベント等を行っています。

## 環境指導課/環境課環境指導係

環境指導課/環境課環境指導係では、大気・水・土壌環境の保全や廃棄物の適正処理の推進に関する業務を行っています。

大気・水・土壌環境の保全業務では、関係法令に基づく申請・届出の審査・指導や立入検査等を行っています。また、定期的に河川、地下水、海水浴場等の水質検査や土壌環境調査等を行っています。

廃棄物関係の業務では、関係法令に基づく申請・届出の審査・指導や立入検査・パトロール等を行っています。

また、河川の油流出事故や不法投棄の通報に関する現地調査・対応等を行っています。

## 2. 主な配属先の位置図



### ○福岡県庁（本庁環境部）○

福岡市博多区東公園 7-7  
地下鉄 馬出九大病院前から徒歩5分  
J R 吉塚駅から徒歩10分



### ●宗像・遠賀保健福祉環境事務所●

宗像市東郷1丁目2番1号  
J R 東郷駅から徒歩20分



### ●京築保健福祉環境事務所●

行橋市中央1丁目2番1号  
J R 行橋駅から徒歩17分



### ●嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所●

飯塚市新立岩 8-1  
J R 新飯塚駅から徒歩15分



### ●筑紫保健福祉環境事務所●

大野城市白木原3丁目5番25号  
西鉄白木原駅から徒歩5分



### ●北筑後保健福祉環境事務所●

久留米分庁舎  
久留米市合川町1642-1  
西鉄久留米駅から徒歩15分



### ●南筑後保健福祉環境事務所●

八女分庁舎  
八女市本村 25  
西鉄バス 福島バス停から徒歩7分  
堀川バス 福島バス停から徒歩7分  
堀川バス 日の出町バス停から徒歩5分





### 3. とある若手職員の業務日誌

#### 自己紹介



**永田 浩章**

入庁5年目

所属 環境部自然環境課  
環境影響調査係

生まれも育ちも福岡県です。高校時代の友人が技術系公務員として働いている話を聞き、この仕事に興味を持ちました。

#### 担当業務

主に温泉法に関する業務を行っています。温泉法は、温泉資源の保護や可燃性天然ガスによる災害の防止などを目的としていて、温泉の掘削や公共利用には許可が必要となります。私はその許可申請の審査等を行っています。



**8:25 登庁:**  
地下鉄で通勤しています。

**8:30 業務開始:**  
メールや業務の進捗状況を確認します。今日は、温泉の掘削許可申請の可否等を審議する会議である温泉部会の事前打ち合わせをオンラインで実施するため、その準備を行います。

**9:30 打ち合わせ:**  
温泉部会を取りまとめる部会長とオンラインで事前打ち合わせを行います。打ち合わせでは、会議を円滑に行うために、申請内容の要点を整理します。

**11:00 会議資料作成:**  
打ち合わせの結果をもとに、会議当日に使用する資料を作成します。

**12:00 昼休み:**  
お弁当を持参して執務室内で食事をする事が多いです。庁内でお弁当を販売しているので、そちらを利用することもありますし、庁舎近くの飲食店に行くこともあります。

**13:00 会議資料作成:**  
午前中に引き続き、資料を作成します。

**15:00 窓口対応:**  
温泉の許可申請に関する相談を受けたり、届出を受け付けたりします。相談内容は既存の温泉井戸を掘り替えたいというものや、新規で温浴施設を開設したいなど様々です。基本的には事前に日程調整をして窓口に来ていただきますが、飛び込みのこともあります。

**17:30 退庁:**  
帰宅後は食事や映画にでかけることもあります。また、週に1回、仕事終わりに友人たちとフットサルを楽しんでいます。休日にはサッカーをしたり、ドライブに出かけたりします。



#### こぼれ話:

化学職として採用された場合、基本的には環境行政に携わることが多く、異動先も限られますが、業務内容は、廃棄物の処理に関することや大気・水質に関すること、私の現在の業務である温泉に関することなど様々ですので、学ぶことの多い毎日です。

「化学」職という職種ですが、化学以外のバックグラウンドを持つ職員もいます。私自身も大学の専攻は化学ではありませんでしたので、化学専攻かどうかは気にせずに、多くの方に興味を持っていただけたらと思います。





## 自己紹介

生まれも育ちも福岡です。県内の民間企業で働いていましたが、地元のために働きたいと思い入庁しました。

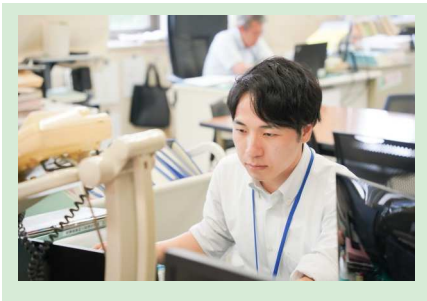
## 担当業務

産業廃棄物を排出する事業者や、処理する業者の指導及び監督に関する業務を行うため、専用のシステムの整備・運用、ドローンの導入・運営・管理に関することや、職員向け研修の実施などを行っています。

## 安永 晃崇

入庁8年目

所属 環境部監視指導課  
廃棄物指導第一係



### 8:10 登庁:

電車で通勤しています。乗車駅発の空いている電車に乗るため、少し早めの出勤です。

### 8:30 業務開始:

1日の業務スケジュールの確認及びメールチェックを行います。当番制で、新聞確認を行っており、監視指導課の業務に関係のある記事が出ていないか確認します。監視指導課の業務に関係がある記事があれば課内で情報の共有を行います。

### 10:00 事業者との打ち合わせ:

産業廃棄物を処理する事業者などの情報を一元管理している専用システムの整備・運用を委託している事業者と、今後の整備・運用スケジュールや、作業内容などについて打合せを行います。多くの職員がシステムを利用しており、システムトラブルを防ぐために大切な打合せです。

### 12:00 昼休み:

県庁内の食堂で、同期とおしゃべりをしながら昼食を食べています。

### 14:00 課内協議:

産業廃棄物を処理する事業者への指導状況、職員向け研修の内容やスケジュールなどについて協議を行い、全体の方針の確認や、進捗状況の確認などを行います。

### 15:00 資料作成:

課内協議の結果を踏まえ、出先の保健福祉環境事務所や職員向け研修の講師などと打合せを行うための資料を作成します。

### 18:00 退庁:

帰宅後は、趣味の卓球を行うこともあります。また、飲み会に行くこともあります。



## こぼれ話:

福岡県庁には、県庁卓球部をはじめ、様々な部活があるほか、毎年互助会の球技大会が開かれるなど、仕事以外で交流を深める機会がたくさんあり、一緒に仕事をしていない知り合いがたくさんできます。また、勤務は暦どおり土日祝日は休みで、年次休暇以外に夏季休暇などの制度があり、休暇も比較的取りやすいため、ワークライフバランスの取れた働き方ができやすいです。



## 大塚 世志子

入庁4年目

所属 リサイクル総合研究  
事業化センター  
プロジェクト推進班

### 自己紹介

関西出身で学校卒業後に福岡に来ました。福岡の穏やかな雰囲気に惹かれ、県の発展に貢献したいと思いました。

### 担当業務

社会課題の解決のため、民間事業者と協力してプロジェクト事業を進めています。概ね3年で事業テーマは変わりますが、現在は使用済プラスチックを回収し、再資源化する社会システムの構築に取り組んでいます。



### ＼リ総研って？？／

公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター(略称 リ総研)は、北九州市若松区にある、リサイクルなど3Rに関する新技術・社会システムの構築・事業化を支援するための機関です。

事業としては、産学官民のチームで行われる技術開発や実用化に向けた研究開発への支援事業や、福岡県が重点的に取り組むべきリサイクルに関する社会課題等を県や民間事業者と連携して実施するプロジェクト事業などを行っています。



#### 7:45 登庁:

車通勤をしています。朝の渋滞を回避するため早めに出勤しています。

#### 8:00 業務開始:

今日の業務内容の確認とメールチェックをします。

#### 9:00 朝礼と資料作成:

朝礼では、班内の予定確認と情報共有を行います。朝礼後は、資料作成等の事務処理を行います。

#### 11:00 打合せ:

班で事業の進捗確認や進め方について協議します。プロジェクト事業の遂行は一筋縄ではいかないので、対応方針を話し合い、乗り越えていきます。

#### 12:00 昼休み:

毎週火曜日に来るキッチンカーを楽しみにしています。お気に入り地鶏のおろしポン酢丼です！

#### 14:00 出張:

医薬品が入っていたプラスチックボトルを使用済プラスチックとして回収している薬局へインタビューを行いました。

#### 16:00 出張:

事業の協力事業者と事業の方向性や課題、今後の流れについて協議しました。

#### 17:00 退庁:

この日は出張先から直帰しました。遠方から通勤しているため、出張は直帰できる時間に組むことが多いです。帰宅後は趣味のバイオリンの練習をしています。金曜日は飲みに行くこともあります。

### こぼれ話:

化学職の配属先といえば、本庁か保健福祉環境事務所が代表的ですが、外郭団体であるリ総研も配属先の一つです。

プロジェクト事業の目標達成に向けて、自ら方針を決め事業を遂行していくことはとてもやりがいがあります。リ総研の仕事はあまり知られていないため、これを機に知っていただけたら嬉しいです。

県内外の出張が多いですが、定時で帰れることがほとんどなので仕事もプライベートも充実です！



## 自己紹介

大学卒業後は関西のメーカーで働いていましたが、地元で仕事がしたいという思いで転職しました。

## 担当業務

産業廃棄物に関する適正処理指導を行っています。  
廃棄物の野外焼却・不法投棄・河川への油漏れ等に関する苦情通報の対応も行います。

## 甲斐原 将

入庁9年目

所属 筑紫保健福祉環境事務所  
環境指導課



● **8:25 登庁:**  
子どもを保育園へ送った後に自転車で登庁します。

● **8:30 業務開始:**  
メールチェックを行い、回覧物の確認、課内ミーティングなどを行います。

● **10:00 立入検査:**  
事業者への立入  
継続指導中の産業廃棄物の不適正処理現場へ立入し、改善状況の確認と今後の適正処理指導を行います。  
立入は2人以上の職員で対応します。

● **12:00 昼休み:**

● **13:00 書類審査:**  
水質汚濁防止法に関する届出書の審査を行います。

● **15:00 苦情対応:**  
住民から「近所に廃棄物が持ち込まれている」との苦情通報があり、市役所の職員と合同で現地調査を実施します。  
行為者を特定し聞き取り調査を行ったところ、違法行為であることが確認されたため、撤去を行うよう指導。  
帰所後に対応レポートを作成。

● **17:30 退庁:**  
保育園へお迎えに行ったあと、  
ご飯→お風呂→寝かしつけ を頑張ります！



## こぼれ話:

対応する公害苦情は様々で、苦情の内容によっては市役所環境課や土木事務所・農林事務所等と連携して対応します。案件によっては警察・消防とも連携します。

それぞれの所属担当者と協力して、不適正処理事案や事故に対応し解決していくのは、とてもやりがいを感じます。

共働き家庭なので、家事育児は半分ずつ。日々、子育てに奮闘しています。



## 4. 化学職のキャリアパス

福岡県職員の新規採用者は本庁(県庁舎)、出先機関(各地域の事務所)のいずれにも配属される可能性があります。

化学職は主として本庁の環境部、または、出先機関である保健福祉環境事務所の環境部門に配属されますが、採用後5年以内に最初の人事異動があります。

また、採用後10年程度のうちに一度は本庁勤務を経験する人事異動が基本とされています。

県職員としての段階ごとに求められる能力は図のとおりです。

### 技術主査

求められる能力

・係長の補佐として係の業務のとりまとめ

### 技師・主任技師

求められる能力

・業務目的と自分の役割の認識  
・所属職員との協調、連携  
・的確な事務処理と専門的能力の発揮





## 係長

求められる能力

- ・係の事務の責任者として積極的な取組
- ・係員の育成

## 課長

求められる能力

- ・所属の責任者としての挑戦的な取組
- ・組織の統一

## 部長

求められる能力

- ・県政全体の方向性を見通し、部局を横断する課題や目標を設定し、その達成に全力で取り組む



## 5. 入庁1年目職員のおあれこれ



辻 真樹  
環境部 環境保全課  
令和5年4月入庁

### 自己紹介をどうぞ

辻真樹と申します。出身は長崎県で、大学から福岡県に来ました。

### 現在担当している業務は どんな内容ですか？

環境保全課土壌係は土壌汚染対策法を所管としているため、土壌汚染対策法に基づく届出書や報告書等の審査が主な業務になります。例えば、有害な物質で汚染されている土地における工事について、その工事計画が施工基準を守っているかの確認や、適正に工事が行われたかの確認などを行っています。その他にも、過去に有害な物質を使用していた土地についての相談対応や、汚染が判明した土地についての相談対応などを行っています。また、有害な物質で汚染されている土地の周りで地下水の飲用利用がないか、現地に行って確認することがあります。

### 化学職として県に就職して驚いたこと、 想像と違っていたことは？

化学職で採用されれば、それこそ研究職のように実験をすることもあるのかと考えていましたが、実際には行政職とほぼ同様のデスクワークが中心でした。また、公務員は机に向かって黙々と一人で仕事をするのだろうというイメージを持っていましたが、実際には先輩職員と話しながら仕事を進めていきます。と言うのも一人で解決できない複雑な仕事が多いため、複数名で方針を確認していく必要があるからです。



## 職場の雰囲気や先輩職員との関係について 教えてください

質問を気兼ねなくできる、良い関係だと思います。職場の雰囲気としても休暇が取りやすく、仕事だけでなくプライベートも充実させることができます。

## 志望動機や採用試験を受けるまでの 経緯を教えてください

福岡県から外に出たくなかったため、異動が県内でほとんど完結する県庁を志望しました。受験対策については、化学の筆記試験についての情報を入手できなかったため、市販の化学職用の参考書を用いて勉強をしました。

## 担当業務において、役に立った経験や 技能はありますか？

実際に化学物質を扱う機会はありませんが、受理した報告書にテトラクロロエチレン等の化学物質名が記載されていることがよくあります。その際、それらの物質名を見ただけでどのような物質か分かれれば報告書の内容の理解が進むため、化学の知識が役に立っていると感じます。

また、研究室時代に表計算ソフトでデータの整理を行っていたなど元々パソコンの扱いに慣れていたので、ほぼデスクワークの現在、パソコンに慣れていて良かったと感じます。

## 仕事の中でやりがいを感じる点や 就職して良かったと感じる点は？

一つ一つの事例は型にはまったものは少なく、日々新たな知識を取り入れながら問題に対処していく必要があります。入庁直後は知識不足を感じましたが、法令等を学び適切な対応ができるようになったときは、自分のレベルアップを実感し、やりがいを感じました。

## 最後に、受験生へのメッセージをお願いします！

化学職として採用された職員は主に環境保全に携わることになりますが、これを読んでいる方のほとんどは環境関係の勉強をされたことがないと思います。実際、化学職として採用された方も環境を専攻していた方ばかりではありません。しかし、それ以外の分野を専攻していた方も化学の様々な分野の知識を環境保全に生かしています。

大変なことも多いですが、県庁でしか行えない仕事はたくさんあります。皆さまのご応募をお待ちしております。



熊谷 崇  
南筑後保健福祉環境事務所  
令和5年4月入庁

## 自己紹介をどうぞ

熊谷崇と申します。出身は大分県です。大学院修士課程を修了後、民間企業に3年間勤め社会人としては4年目になります。よろしくお願いします。

## 現在担当している業務は どんな内容ですか？

産業廃棄物の処理を行っている事業場の監視指導業務に従事しています。具体的には、事業者が廃棄物を適切に処理しているか日々現場に立入調査を行い、直接指導を行うものです。法律等の知識も必要ですが、特にコミュニケーション能力が大切な仕事であると感じています。他にも、不法投棄の取り締まりなど地域の環境保全に係る業務を担っています。

## 化学職として県に就職して驚いたこと、 想像と違っていたことは？

自分と同じ業務に獣医師や薬剤師の方も従事しているなど、化学職以外の方とのかかわりが多いこと。ついては、自分にはない視点や考え方を教示いただけてとても勉強になっています。

また、化学職と聞いて最初は薬品などを取り扱う業務があることを想像していましたが、実際の仕事は現場調査や書類審査でありギャップを感じることはありませんでした。

しかし、県民の方との直接的な関わりの機会が多く、福岡県の実際を肌で感じられるので、県職員としての基礎的なスキルを磨くには適した環境で仕事ができていると感じます。





## 職場の雰囲気や先輩職員との関係について 教えてください

メリハリのある職場だと思います。基本的には黙々と仕事をしていますが、適度に雑談するシーンもあり、先輩職員や上司への相談もしやすい雰囲気です。職場の皆さんにはいつもとても親切にご指導いただいています。

## 志望動機や採用試験を受けるまでの 経緯を教えてください

主な志望動機は、全国転勤がなく地元ですと働ける仕事が良かったということです。また、これまでとは異なる分野の仕事に挑戦がしたかったことも理由の一つです。

受験についてですが、専門試験対策は市販の参考書で大学時代の化学分野の復習を一通り行いました。準備期間は3か月ほどです。実際に試験を受けてみて、手広く基礎問題を中心に押さえるのがポイントだと思いました。教養試験対策は、時間内に解く練習をしておけば間違いないと思います。どの試験も、自分の実力が発揮できれば突破可能だと思います！

## 担当業務において、役に立った経験や 技能はありますか？

他人とのコミュニケーション能力と、スケジュール管理能力の2点が特に役に立つと思います。仕事はひとりでは解決できないことも多く、その場合先輩や上司と相談しながら進めるので、現在の状況や自分の考えなどを適切に言葉にする必要があります。加えて、期日厳守の業務を同時進行するため、普段から何事も現状把握及び優先順位をつける意識を持っておくとういことだと思います。両者とも当たり前のことのようにですが、業務を進める中で日々その大切さを実感しています。

## 仕事の中でやりがいを感じる点や 就職して良かったと感じる点は？

廃棄物処理に関する専門的な知識が自然と身につく、成長を感じられる点にやりがいを感じます。また、最初からある程度責任のある業務を任せられるので、県職員の一員として県の行政に貢献している実感も得られやすいと思います。

## 最後に、受験生へのメッセージをお願いします！

化学職の仕事で使う知識の多くは、大学での専攻とは全く別のジャンルという方がほとんどだと思います。したがって、大学で十分に力が発揮できなかったと感じる方も、1から取り組める仕事ですので積極的に挑戦してほしいと思います。応援しています！



## あゆみ 6. 先輩職員の軌跡

環境部長

鐘ヶ江 弥生



昭和63年 入庁  
平成30年 環境部環境政策課企画広報監  
令和元年 環境部循環型社会推進課長  
令和4年 環境部次長  
令和5年 環境部長

### 日々悩みながら現場を駆け回っていた採用当初

最初の配属先は保健所（保健福祉環境事務所）で、主に水質、大気等公害関係の業務を担当していました。論理的でかつわかりやすく話すというのは、非常に難しいと日々悩みながら現場を駆け回っていました。手本を示しながら丁寧に指導して下さった諸先輩方に今でも感謝しています。

ちなみに、今では多くの女性が公害業務を担当していますが、当時は女性が公害担当をするのは初めてで、管内の市町村の方々から、「今度の担当は新規採用の女性らしいけど大丈夫か。」と心配されていたそうです。

### レアメタルリサイクルの新たなスキーム

循環型社会推進課では、班長として、携帯電話やパソコンなどの小型家電に含まれるレアメタルをリサイクルする仕組みづくりに取り組みました。

小型家電1台当たりのレアメタル含有量は少なく、事業採算性を確保するためには、いかに広範囲から効率的に集めるかがカギとなります。このため、環境省事業を活用して、九州各県からの広域回収実証事業を実施し、回収やリサイクルに係るコスト等の検証を行いました。この事業における一連のスキームが、小型家電リサイクル法制定の際のモデルとなりました。現行の法律では実現が難しい案件でも、あきらめずに取り組み解決策を提示することで、新たな仕組みを構築できたことは、その後の仕事に対する向き合い方に影響を与えた案件です。



## 福岡県環境部の果たす役割を特に意識するようになった

環境部長になって、様々な会議、行事などを通じて、国、市町村、関係団体の方々とお会いする機会が格段に増えました。名刺があつという間になくなってしまいます。知事・副知事、他の部長や県議会議員の方々と話をすることも増え、県全体、また日本、そして国際社会の大きな変化の中で、本県環境部の果たす役割を特に意識するようになりました。

福岡県環境総合ビジョンでは、「環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会へ」を本県の将来像に掲げ、グリーン社会の実現に向けて様々な取り組みを行っています。

今年度は、地球温暖化対策として、県有施設への太陽光発電施設の導入、太陽光パネルのリユースモデル事業などを実施しています。また、プラスチックごみ削減のため、「プラスチックごみ削減応援サイト」の開設や陸域の散乱ごみの実態把握調査を行っています。

その他、産業廃棄物の監視指導強化のための赤外線搭載ドローンの導入、みやま市に移転予定の福岡県保健環境研究所の附属施設として整備する屋外ワンヘルス体験学習・研究施設の基本設計を行っています。

※ ワンヘルス：「人の健康」、「動物の健康」、「環境の健全性」を一つの健康と捉え、一体的に守っていくという考え方



プラスチック削減応援サイトはこちら→



## 職員がやりがいを実感できる職場づくりを目指す



部長として、県民の安全・安心を確保するため、公害対策、廃棄物対策について、引き続きしっかり取り組むとともに、様々なステークホルダーの理解・協力を得ながら、地球温暖化対策、資源循環、生物多様性の保全など、将来に向けた新たな施策に積極的に取り組んでいきたいと思っています。

また、職員の皆さん一人ひとりが、やりがいを実感できる職場づくりをしていきたいと思っています。

## 今起きていること、この先起こりそうなことにアンテナを高く張り、あきらめずに挑戦すること

環境行政も、いわゆる公害問題から廃棄物の不適正処理、そして地球温暖化、海洋プラスチックごみ問題など多岐にわたっています。課題はグローバルでも実際に起きている事象は日常生活に密着したもので、地方公務員が果たす役割は益々重要になっています。

法律や科学的根拠をもとにじっくり考えることも大事ですが、現場に行き確かめる、関係者の話を聞くということも重要です。今起きていること、そしてこの先起こりそうなことにアンテナを高く張って、あきらめずに挑戦することが求められています。

福岡県、そして日本、地球の環境保全のためにがんばってみたいと思う方、是非福岡県の化学職として一緒に仕事をしましょう。



環境長

奥迫 芳美



平成9年 入庁  
令和3年 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 環境長  
令和5年 南筑後保健福祉環境事務所 環境長

## 本庁と出先の双方で経験を積む

私は化学素材メーカーで4年間勤務した後、福岡県に化学職として採用され、当時直方市にあった鞍手保健所で環境保全業務に携わりました。環境保全業務というのは、工場に立入して排水や排ガスを検査したり、河川や湖の水質調査を行ったりといった、地域の生活環境を保全する大事な仕事です。当初は民間企業との立場の違いに戸惑いましたが、化学職の先輩に環境保全業務の基本を色々教えてもらい、何とか業務を進めることができました。その後、2～5年間隔で本庁環境部と出先を行き来しながら、現在に至っています。

## 東日本大震災発生後の情報提供の仕組みづくりを行った

初めて係長になった本庁環境保全課勤務の時、県内の放射線量と大気中PM2.5（微小粒子状物質）の監視体制構築に取組みました。

当時は東日本大震災発生直後であり、福岡県でも放射線量の監視を強化する必要がありました。また、PM2.5についてはマスコミで大きく取り上げられたことから県民の方々の関心が非常に高くなり、問合せも非常に多かったことを覚えています。

専門家などの様々な関係者と協議を重ねた上で、放射線量及びPM2.5の測定施設を設置するとともに、様々な媒体（ホームページ、メール、テレビデータ放送など）を用いて、広く県民の方々に測定結果や注意情報をお知らせする仕組みづくりを行いました。

当時の経験から、好ましくない情報やデータであっても隠さず公表・説明しなければ、県民の方々の理解を得ることはできないと実感しました。

仕事は忙しかったのですが、職員一丸となってミッションに取組み、国・県庁関係機関・市町村等の協力を得ながら楽しく仕事を進めることができました。





## 環境長は出先機関の責任者

環境長とは出先機関である保健福祉環境事務所の環境部門の責任者であり、管轄する地域の生活環境を保全するため様々な取組みに挑戦するポジションです。地域の生活環境を保全するため、事業目標の設定、事業の基本方針の決定、外部機関との折衝などを行います。

また、南筑後保健福祉環境事務所の環境部門には地域環境課及び環境指導課があり、これらの組織に所属する職員を統率する立場にあります。

持続可能な社会を実現するためには、事業者だけでなく県民誰もが環境負荷の少ない行動を実践することが重要です。そのため、南筑後保健福祉環境事務所の環境部門では県民の方、特に将来の福岡県を築いていく子供達への環境啓発活動に力を入れています。

筑後地域には有明海という特徴ある海域があります。令和5年度から、里山や河川に加え、有明海をフィールドとした啓発イベント（干潟観察会など）を始めました。

また、県民の方々から相談が多いのは、廃棄物の不適正処理や工場などからの排水・排ガスに関するものです。南筑後保健福祉環境事務所では廃棄物処理業者や工場の監視を強化し、市町村などの関係機関と連携しながら、課題解決に取り組んでいます。

近年、環境問題は複雑化しており、保健福祉環境事務所の環境部門だけでは解決できない問題が増えています。環境問題を解決するためには、国・市町村・NPO・企業など県以外の関係者との連携を強化することが重要です。

環境長として、日頃から関係機関との対話を重ね、連携を深めるよう努めています。

また、部下職員が働きやすく、やりがいを持って仕事に取り組めるよう、職場環境、人員、組織体制などを整備することにも力を入れています。



## 現場対応から政策まで、幅広い経験を得るチャンスがある職種

福岡県では「環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会の構築」を目指し、様々な課題に取り組んでいます。そのためには、環境配慮型のビジネススタイルやライフスタイルへの転換など、社会活動の転換が必要になります。

一方、実際の環境問題が顕著化するのは住民生活の場であるため、地域の声をよく聞き、現場を念入りに調査し、工場・業者などへ指導することも引き続き重要です。

化学職の職員は試験研究をすることはありませんが、問題現場での対応だけでなく、県計画の策定、民間団体や企業との協働など幅広い経験を得るチャンスがあります。

福岡県の環境をより良くするためには、皆さんの柔軟な発想と行動力が必要です。

ぜひ、私たちと一緒に福岡県の未来をつくっていきましょう。



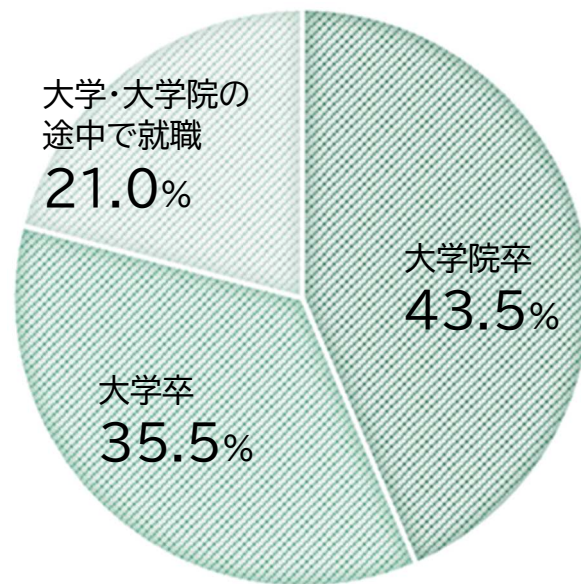
## 7. 化学職のバックグラウンド

化学職の新規採用者は、新卒から転職者まで様々なバックグラウンドを持っています。  
ここでは、参考情報として、大学の所属学部や前職経験に関するアンケート調査結果を御紹介します。

(回答者数 62名)

### 1. 学歴

大学院卒が一番多いですが、途中就職組も結構います。

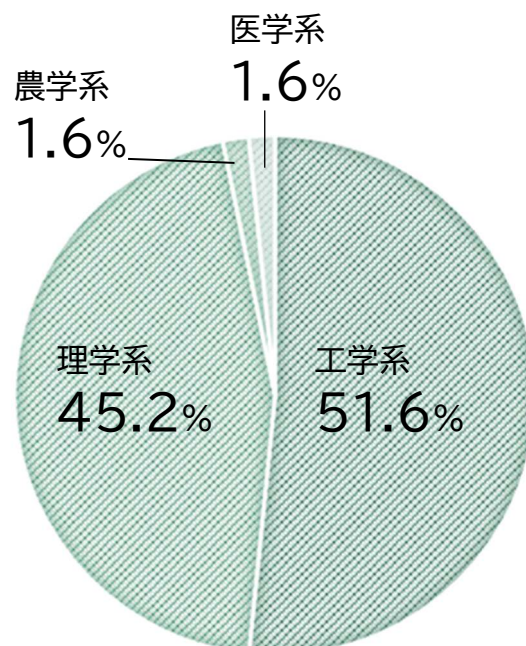


### 2. 学部系統

工学系・理学系出身者が大半です。  
全体の学科・専攻の内訳をみると・・・

化学系  
生物系  
物質・材料系 など

化学専攻者ばかりではありません。

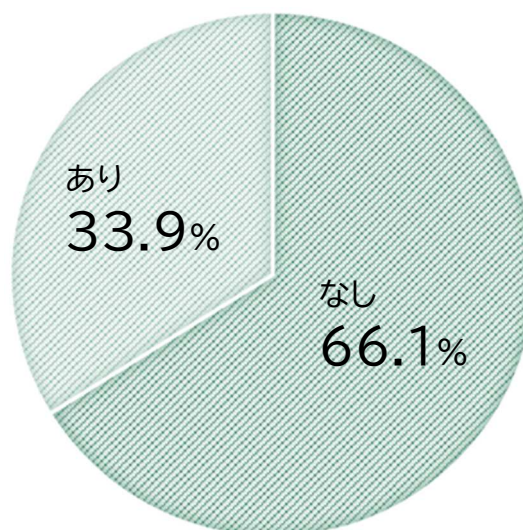




### 3. 前職経験

前職分野の内訳は・・・  
メーカーの技術職・研究職  
公務員  
教育関係 など

前職経験者が結構います。



<参考> 最近の試験実施結果

年度	採用予定数	受験者数	最終合格者数	倍率
令和 5年度	5	17	7	2.4
令和 4年度	5	20	6	3.3
令和 3年度	3	14	4	3.5
令和 2年度	2	24	2	12.0
令和 元年度	6	13	6	2.2



【福岡県職員 化学職志望者向けパンフレット】  
—令和6年版— 福岡県職員化学職って？

**編集・発行 福岡県環境保全技術者の会**

福岡市博多区東公園7-7(福岡県庁)  
<http://KangiKai.sunnyday.jp/>

電子版パンフレットは  
こちら！！↓

